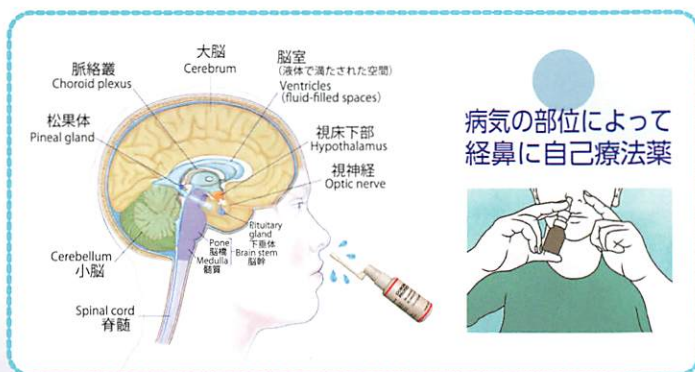


粘膜免疫療法

本来からだを持っている免疫力（免疫細胞）を活かして、病気と闘うため、辛い副作用で苦しむことは、ほとんどありません。

院内製造、
点鼻療法
スタート。

経鼻アジュバント



病気の部位によって
経鼻に自己療法薬

安心・安全

経鼻摂取であり、今までにアナフィラキシーショックの事例がなく安全です。更に、東京大学 名誉教授 田之倉優チーム研究にてマフクリニック提供の特殊工法の活性因子水で液体薬品を粉末し、更に液体状にしても成分が変わらないという画期的な技術を開発しました。それにより保存や輸送の費用が抑えられ、使用しやすくなりました。

IgA を誘導

インフルエンザウイルスの感染防止にも

擬似ウイルス抗原の構造を持ったアジュバントを鼻の粘膜にスプレーする事によって、まずは粘膜の抗体 Ig A が誘導され、次いで IgG が誘導され、インターフェロンも作られることで、他の病原菌や約 150 種類程あるウイルス等の異物を排除する交差防御（クロスプロテクション）が期待されるのです。それだけではなく、アジュバント摂取の副反応として、花粉症の改善も見込まれるという、一年中、色々な花粉のアレルギーに悩まされている方々にもこの上ない朗報です。

※免疫グロブリンは、IgG、IgA、IgM、IgD、IgE の 5 種類があり、それぞれに働く場所や分子量が異なります。その中の一つの「IgA」は、病原菌やウイルスの侵入を防御するという重要な役割を担っています。

マフクリニック

〒104-0044 東京都中央区明石町5-19横山ビル2F
TEL.03-6278-8081 FAX.03-6278-8082